

Cisco Prime Infrastructure (仮想マシンのみ) のパスワード回復

内容

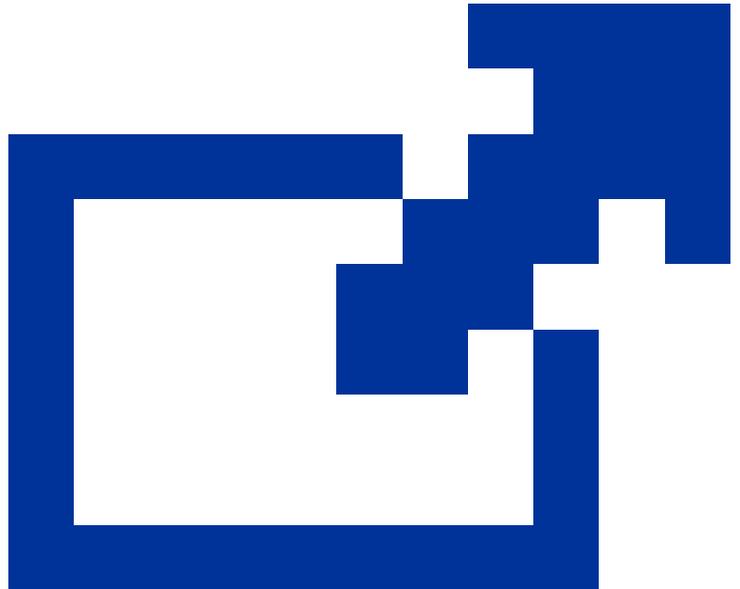
[はじめに](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Prime Infrastructure サーバで管理者パスワードを回復 (つまり、リセット) する方法について説明します。このドキュメントの内容は、Cisco Prime Infrastructure バージョン 1.2 以降に適用されます。ここで説明する手順は、顧客が提供したハードウェアに仮想マシン (OVA) としてインストールされているサーバのみを対象としています。[アプライアン](#)



[ス用には別の手順があります](#)

。

手順

この手順では、お客様のハードウェアにインストールされたOVAでCisco Prime Infrastructureサーバの管理者パスワードをリセットする方法について説明します。ソフトウェアのバージョンに対応したISO インストール イメージのコピーを入手していて、管理者パスワードをリセットする前に、VMware サーバからこのイメージをブートできる必要があることに注意してください。これらの手順には、この要件を満たすための簡単な手順が組み込まれています。

1. 管理者パスワードを回復する前に、使用しているCisco Prime Infrastructureのバージョンに適したインストールISOイメージのコピーを入手する必要があります。

Cisco Prime Infrastructure ISOイメージファイルの形式はPI-APL-version.isoです。ここで、

versionは製品のバージョン番号です。例：最新バージョンのCisco Prime Infrastructureバージョン3.1を使用している場合、ISOイメージファイルPI-APL-3.1.0.0.132-1-K9.isoのコピーが必要です。

ISO イメージのコピーを入手していない場合は、次の手順で Cisco.com からダウンロードできます。

- a. ブラウザで <https://software.cisco.com/download/navigator.html> にアクセスします。
 - b. Findボックスを使用して、Cisco Prime Infrastructureを検索します。
 - c. 結果リストから、使用するソフトウェアバージョンを選択します (Cisco Prime Infrastructure 3.1など)。
 - d. Prime Infrastructure Softwareを選択して、そのソフトウェアバージョンのISOとその他のダウンロード可能なイメージファイルのリストを表示します。
 - e. そのページから ISO イメージをダウンロードします。
2. ISOイメージのコピーを入手したら、次のように仮想マシンのデータストアにアップロードします。vSphereインベントリ、データストア、またはオブジェクト機能にアクセスできない場合は、VMware管理者に問い合わせてください。また、vSphereクライアントから直接ESXにアクセスしないでください。
- a. vSphere インベントリで、[Datastores] をクリックします。
 - b. [オブジェクト]タブで、ファイルをアップロードするデータストアを選択します。
 - c. [Navigate to the datastore file browser] アイコンをクリックします。
 - d. 必要に応じて、[Create a new folder] アイコンをクリックして、新しいフォルダを作成します。
 - e. 作成したフォルダを選択するか、既存のフォルダを選択して、[Upload a File] アイコンをクリックします。
- Client Integration Access Controlダイアログボックスが表示されたら、Allowをクリックして、プラグインからオペレーティングシステムにアクセスできるようにし、ファイルのアップロードを続行します。
- f. ローカル コンピュータで、ファイルを検索して、そのファイルをアップロードします。
 - g. データストアファイルブラウザを更新して、アップロードされたファイルをリストに表示します。
3. データストアにアップロードされたISOイメージを、次のようにデフォルトのブートイメージにします。
- a. VMware vSphereクライアントで、導入されたOVAを右クリックし、Power > Shut

down guestの順に選択します。

- b. Edit Settings > Hardwareの順に選択し、CD/DVD drive 1を選択します。
- c. Device TypeでDatastore ISO Fileを選択し、Browseボタンを使用して、データストアにアップロードしたISOイメージファイルを選択します。
- d. Device Statusの下で、Connect at power onを選択します。
- e. Optionsタブをクリックして、Boot Optionsを選択します。Force BIOS Setupで、Next time VM boots, force entry into BIOS setup Screenを選択します。これにより、仮想マシンの再起動時に仮想マシンのBIOSからブートが強制されます。
- f. [OK] をクリックします。
- g. VMware vSphere クライアントで、導入済みの OVA を右クリックして、[Power] > [Power On] の順に選択します。
- h. BIOS セットアップ メニューで、デバイスのブート順序を制御するオプションを探して、[DVD/CDROM] を一番上に移動します。

4. Cisco Prime Infrastructureサーバの管理者パスワードを変更するには、次の手順を実行します。

- a. BIOS 設定を保存して、BIOS セットアップ メニューを終了します。仮想マシンが ISOイメージから起動し、起動オプションのリストが表示されます。
- b. キーボードとモニタを使用してOVAにアクセスする場合は「3」を、コンソール経由でアクセスする場合は「4」を入力します。vSphere クライアントに、管理者ユーザ名のリストが表示されます。
- c. パスワードを回復する管理者ユーザ名の横に表示された番号を入力します。
- d. 新しいパスワードを入力し、2 回目の入力でそれを確認します。
- e. Yを入力して変更を保存し、リブートします。
- f. VMのリブート : vSphereクライアントでCDアイコンをクリックし、Disconnect ISO imageを選択します。
- g. 新しい管理者パスワードを使用してログインを試行します。正常にログインできるはずです。

関連情報

- [Cisco Prime Infrastructure のサポート](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。